

2017年7月25日

## Qualcomm Incorporated との EV 向けワイヤレス充電システムについての ライセンス契約締結

ニチコン株式会社

代表取締役会長 武田 一平

京都市中京区烏丸通御池上る

TEL. 075-231-8461 FAX. 075-256-4158

問合せ先：上席執行役員 NECST 事業本部長

野口 直人

ニチコン株式会社(東証 6996 以下、「当社」)は、Qualcomm Incorporated(NASDAQ : QCOM 以下、「Qualcomm」)と Wireless Electric Vehicle Charging License Agreement (以下、「本契約」)を締結いたしました。

当社は地球環境負荷の少ない EV/PHV の普及を促進するため、2009 年から EV/PHV 用急速充電器を、2012 年から V2H(Vehicle to Home) システム “EV パワー・ステーション” を製造・販売し、EV/PHV の普及に貢献してまいりました。

近年 EV/PHV の増加に伴い、お客さまからは“入出庫の度に行う、充電コネクタの接続・取り外しの手間を軽減してほしい”との要望を数多くいただいております。

当社は、EV/PHV を利用されるお客さまの更なる利便性向上により、一般的なガソリン車両ではできなかった自動給電(給油)オペレーションの実現に向け、WEVC License Agreement に合意し、Qualcomm と本契約を締結することにしました。

車両側の車載充電器、インフラ側の急速充電器、V2H システムで培った当社の技術を基に、「Qualcomm Halo<sup>1</sup>」のワイヤレス充電技術、異物検知等システム全体を制御する通信技術を活用して、ワイヤレス充電システムを商品化してまいります。

本契約により、当社は個人向けワイヤレス充電システムだけでなく、公共用充電施設でのワイヤレス充電の普及も目指し、EV/PHV 利用者の利便性を向上させ、EV/PHV の普及促進に貢献します。

<sup>1</sup>Qualcomm Halo : Qualcomm の EV 向けワイヤレス充電システムの名称

### クアルコム社概要

クアルコム社のテクノロジーはスマートフォン革命の原動力となり、数十億の人々を繋ぎました。同社は 3G と 4G の先駆者であり、また 5G を先導し、インテリジェント・コネクテッドデバイスの新しい時代を切り開こうとしております。同社の製品は自動車、コンピュータ、IoT、医療やデータセンターなどの産業革新に貢献し、数百万のデバイスの結び付を実現しております。また同社はライセンスビジネス、QTL に加えて、多くの特許ポートフォリオを保有しております。クアルコムテクノロジー社はクアルコム社の子会

社であり、他子会社と共にエンジニアリング業務、研究開発、QCT セミコンダクター事業の製品及びサービス事業を運営しております。

クアルコム社に関して更なる情報につきましては、同社のウェブサイト、OnQ ブログ、ツイッター、フェイスブックのページをご覧ください。

#### ニチコン株式会社概要

所在地：京都市中京区烏丸通御池上る

代表者：代表取締役会長 武田 一平

設立年月日：1950年8月1日

資本金：14,286百万円(2017年3月31日現在)

従業員数：5,183名(2017年3月31日現在 連結)

事業内容：アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、  
正特性サーミスタ“ポジアール®”、家庭用蓄電システム、V2H システム、  
EV用急速充電器、公共・産業用蓄電システム、スイッチング電源、  
機能モジュール、医療用加速器電源、学術研究用加速器電源、  
停電／瞬低補償装置など

売上高：100,401百万円(2017年3月期 連結)

以上